

# ライブラリー コンサート

日時：平成29年1月29日（日）  
14：00～14：30

対象：一般

場所：TOYAMA キラリ  
（富山市立図書館 本館）  
2階ロビー

演奏者：富山県神社庁 雅楽部

申込不要  
参加無料



## 雅楽とは

元来「俗楽」に対する言葉で、正統の音楽を意味します。このような広い意味での「雅楽」は中国や朝鮮にもありましたが、日本古来の雅楽とは全く別のものであります。

日本の「雅楽」は日本古来の歌と舞、古代アジア大陸から伝来した器楽と舞が日本化したもの、およびその影響を受けて新しく出来た曲から構成され、ほぼ十世紀（平安中期）に今日の形に完成し千数百年の歴史をもつ、世界の中でも最も歴史的価値のある古典音楽の一つであります。

## プログラム

- ◆ **平調音取**…ひょうしょうねとり音取は次の楽曲の属する調子（音階・旋律）の雰囲気醸し出すため、又、楽器の音程などを整えるための短い前奏曲です。
- ◆ **越殿楽**…えてんらく唐より伝わった曲であるといわれております。黄鐘調、盤渉調にもありますが、平調のものが民謡「黒田節」や「仏教賛歌」などにも編曲されていて、その旋律は雅楽曲のなかでも最も知られているものです。
- ◆ **陪臚**…ばいろ班朗徳の作といわれ、婆羅門僧正が天平8年（西暦736年）に我が国に伝えた天竺楽です。聖徳太子はこの曲を奏して物部守屋の軍に勝利したとか、八幡太郎義家が出陣の際にこの曲を奏して吉凶を占った、などの言い伝えが残されております。
- ◆ **豊栄の舞**…とよさか まい日本古来から伝わるくにぶりのうたまい国風歌舞に属する神楽、「豊栄の舞」を演奏します。この曲は乙女舞とも称され、神に捧げる舞として、昭和25年に神社本庁において制定されました。





## 雅楽に登場する 楽器たち

### かっ こ 鞆鼓



筒状の胴の両面に皮膜を当てた、小型の太鼓です。台に載せ木製のバチで両面を打ちます。演奏のテンポを決定する楽器として、合奏ではリーダーの役割を果します。

### たい こ 太鼓



雅楽で用いられる太鼓には、だだいこ大太鼓、にないだいこ荷太鼓、釣太鼓の三種類があります。大太鼓は主に野外の舞楽に、荷太鼓は野外の道行の時に、釣太鼓は室内の管弦に用います。片面だけを木製の太いバチで打ち演奏します。

### しょう こ 鉦鼓

木製の枠につるされた、金属製のお皿の形をした凹面を、二本のバチで少しずつ打たれます。通常太鼓に付随して打たれる事が多く、太鼓のテンポよりやや遅れて打たれます。野外の舞楽に使う大鉦鼓もあります。



### しょう 笙

その形から鳳笙とも呼ばれております。十七本の竹管が輪の形に並べられた姿が特徴的です。演奏時には火鉢を脇に置き、あぶる事により楽器の内部を乾燥させ、鳴りを良くして演奏します。主に和音を奏で、演奏に厚みをもたせます。



### ひちりき 篳篥

表面に七つの穴、裏面に二つの穴のある管に、蘆で作った舌（ダブルリード）を挿し込んで吹く縦笛です。演奏前には舌をお茶につけ、乾燥によって閉じたリードを温め、水分によって開かせ使用します。雅楽の主要旋律楽器として用いられます。



### りゅうてき 龍笛

おうてき横笛とも呼ばれる竹製の横笛です。旋律楽器で、「音取」などを除く一般的な唐楽曲では、すべてこの龍笛の音頭（主奏者）の独奏で始まります。他に高麗笛・神楽笛などがあります。



### び わ 琵琶

箏の場合同様、「盲箏」「平家」「筑前」「薩摩」琵琶といった「俗琵琶」に対し、雅楽では「楽琵琶」とよばれるものが使われます。奏法は横に抱えて太い弦から細い弦までの四本の弦をバチで弾きます。



### そう 箏

一般的に用いられる「俗箏」に対して、雅楽では「楽箏」と呼ばれるもの（主に和琴）が使われます。この両者は大まかな構造は良く似ていますが、附属の柱（フレット）や使用する爪に違いがあります。演奏は管楽器の旋律にそって、決められたアルペジオ（分散和音）風の音型を奏し、拍節を強調するような奏法を行ないます。

